

(c)サブミニチュア管

使用時期	型名	Tube -番号
1960(S35)～1965(S40)	6D-HH13	-131
1961(S36)～1967(S42)	3D-HH13	-132

Tube- 131:

6D-HH13

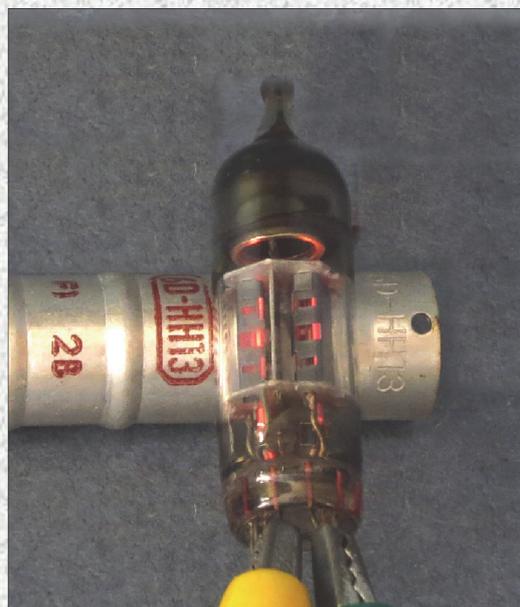
サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	SmT13-01
使用時期	1960(S35)~1965(S40)	初期使用機種	東京芝浦電気 (14FP)
使用回路	MTV:高周波増幅 (カスコード接続) CTV:高周波増幅 (カスコード接続)	Ef [V] × If [mA]	6.3×300

特徴：高周波増幅双3極管、（特徴）動作信頼度が高い、雑音が小さい、入力抵抗が大きい、電極間静電容量が小さい、相互コンダクタンスが大きい、ヒーター電力が小さい、チューナが小型化できる。
（東芝電子管ハンドブック,1969より）、ウォームアップタイム規定=無

経緯：3D-HH13同等、（東芝ブラウン管規格一覧表,1961）

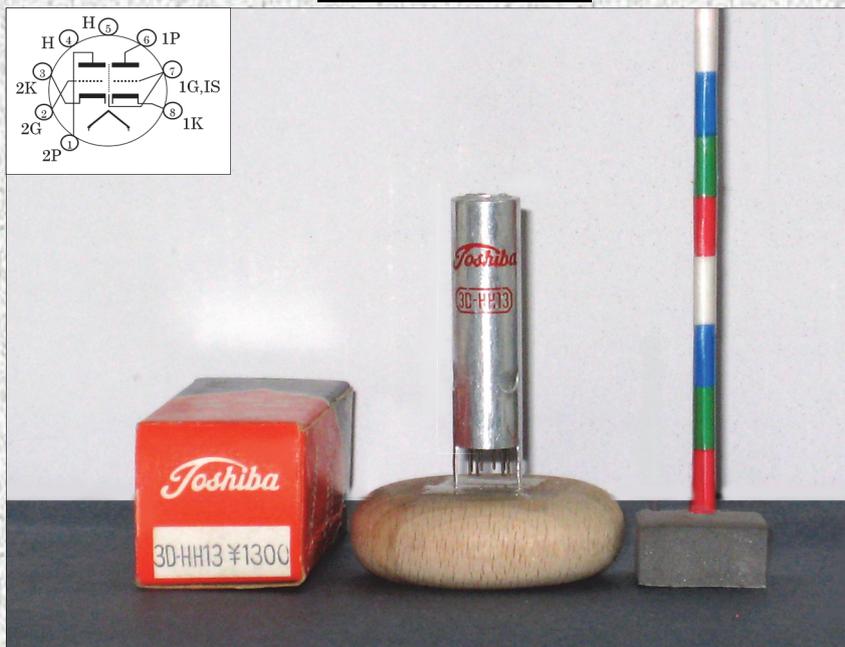


異なった外形管



シールドケース内電極（通電）

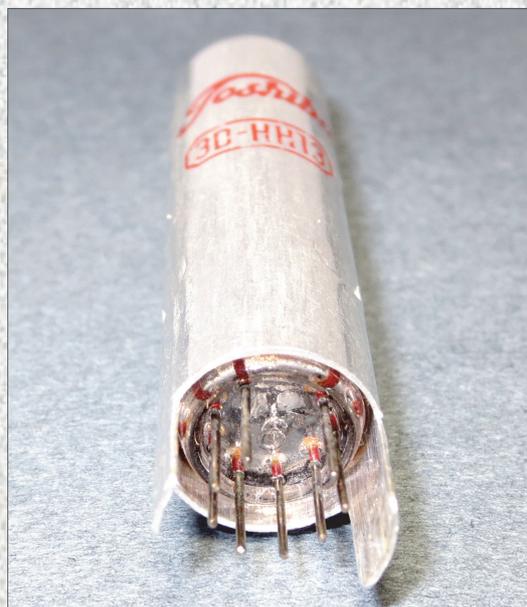
Tube- 132:

3D-HH13

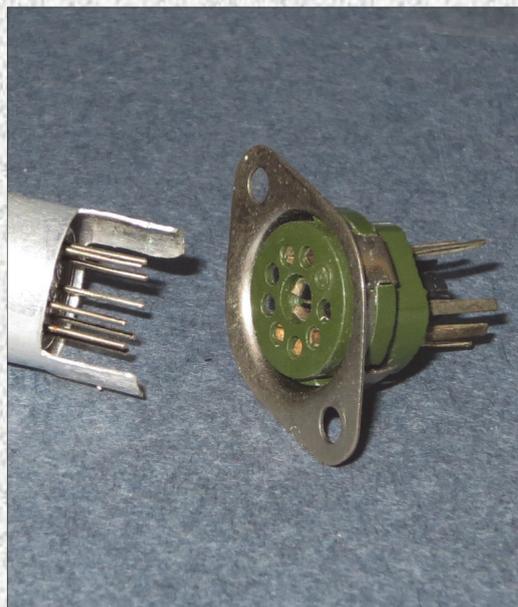
サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	SmT13-01
使用時期	1961(S36)~1967(S42)	初期使用機種	早川電機工業 (TCA-204)
使用回路	MTV:高周波増幅 (カスコード接続) CTV:高周波増幅 (カスコード接続)	E_f [V] × I_f [mA]	3.5×600

特徴：高周波増幅双3極管、ウォームアップタイム=11秒

経緯：6D-HH13同等、(東芝ブラウン管規格一覧表,1961)



拡大 A：脚部



拡大 B：ソケット